

# わたしの 効果倍増! 教材活用術

## 『αドリル国語』を使って、読解力を鍛える — 十分間の積み重ね —

広島県福山市立鞆小学校教諭 山口 悠

### 1. はじめに

近年の子どもたちを取り巻く社会の変化はめまぐるしいものがあります。そんな社会を生き抜くために、子どもたちに確かな資質・能力を身につけさせたいと日々奮闘しています。その中でも、文章や資料等を読み解く力「読解力」は多様な学習活動の土台となるものです。子どもたちと過ごす限られた時間の中で、どのようにしてこの力をつけようかと悩んでいたとき、この『αドリル国語』と出会いました。『αドリル国語』を使った取り組みを本校で始めて二年目になります。今では、これまでの課題を解決する手助けをしてくれる大切な一冊となっています。

### 2. これまでの課題

教科書教材だけでなく、様々な教材を読ませるためには時間も準備も必要です。授業ではよく読み取れていたり単元末テストではよい点が取れていたりした児童が、各種学力テ

ストになると……。そこには、読解力だけでなく限られた時間の中で読み取る力も求められています。

- ① 単元末テストでは、五〜十時間程度かけてじっくりと読み進めた後のテストなので「読解力」が身についたのか判断しにくい。
- ② 多様な教材を読ませたいが、時間が少ない。また、準備も大変である。

また、本校で実施している十分間の「帯タイム」の活用の仕方についても課題を感じていました。

- ③ 学力テストは、読解問題に時間をかけすぎて時間が足りなくなり、問題を全て解くことができない児童がいる。
- ④ プリント等の教材をつけたい力にそって、数ある教材の中から選んだり、作成したりと準備することが大変である。
- ⑤ 十分間では、直したり説明したりする時間がない。

十分間という短い時間でどのようにして子どもたちに学力をつけていくのか。終わったプリントに丸を付けて返しても、直したり説明したりする時間がありません。以上のような課題は、現場にいる教師であれば、誰もが少なからず感じていることではないでしょうか。

### 3. 『αドリル国語』について

『αドリル国語』は、一年生・全二十回、二〜六年生全三十二回のドリルです。表は十分程度で行うことができる短編の読解問題、裏は楽しく取り組むことができる漢字や言葉のパズル問題になっています。どのページも教科書に載っていない文章が掲載されており、児童が初めて出会う問題ばかりなので、読解力をはかる上でよいドリルになっています（課題①の解決）。また、三十二回（二年生・二十回）と問題数も豊富です（課題④の解決）。説明文・物語・詩・伝記・資料・古典などの様々な種類の問題が載っており、多様な文章を読み解く力を身につけさせることができます（課題②の解決）。どれも短編なので国語が苦手な児童でも取りかかやすく、集中して取り組むことができます。

### 4. 本校での使用例

本校では毎週水曜日の帯タイム（13：40）





▲資料を使う問題

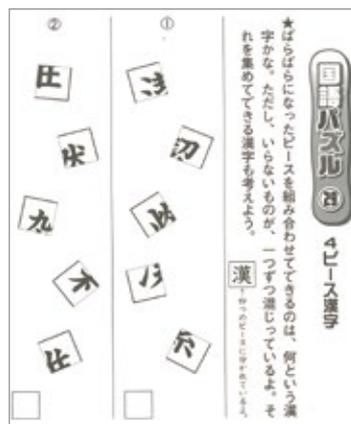
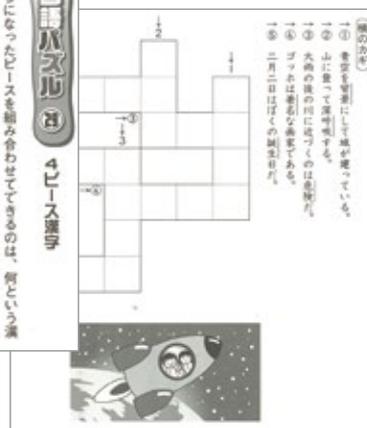
## 6. 『αドリル国語』の内容・裏

不思議なもので、漢字や言葉の学習が嫌いな児童はいてもパズルを嫌いな児童はいません。この裏面の内容も、そんな発想から生まれたのではないのでしょうか。裏面の「国語パズル」は、漢字を組み合わせたリ、□を埋めてことわざを完成させたり、ときにはクロスワードがあったりと、児童の楽しみのひとつになっています。

「国語パズル」の楽しいところは、その問題を解くだけで終わらず、ひとひねりしてあるところです。例えば、全ての問題を解いたあと「使った数」や「余ったもの」を使って解く問題があります。中には「国語パズル」がしたくて表の読解問題を解くスピードが上

がった子もいます。漢字やことわざのどの言葉にも楽しく触れることで、児童の知識も伸びてきました。楽しむことが資質・能力を身につけさせる上で重要だということをごこから学びました。

## ▼クロスワード



▲漢字パズル

## 7. おわりに

子どもたちに確かな資質・能力をつけさせるための土台となる「読解力」の育成は一朝一夕では難しいです。また、繰り返し多様な問題と出会わせることが大切です。そのためには、日々忙しくしている先生方による事前の準備や評価が必要です。それを助けてくれるのが『αドリル国語』です。

\*『αドリル国語1年』は平成28年度版まで全20回でしたが、29年度版より全24回になります。

1回10～15分！ 手軽にできて、思考力が身につく！

# αドリル 国語 算数 新刊

- 朝学習など、帯タイムでの使用に最適！  
毎週1回使用し、1年間で完了できます。
- 1～6年全学年で採用できます！  
上下巻  
(全32回、1年生のみ24回)
- 別冊の児童用解答付き！

上下巻発行になりました！

読解力・思考力の強化



表現力・活用力の強化

